

3 平常時における新型コロナウイルス感染症の感染対策

3.1 新型コロナウイルスの3つの感染経路とその予防

3つの感染経路の解説動画（奈良県）

<https://youtu.be/2nPdLYRyB1Q>



- 新型コロナウイルスは、患者の鼻の中や、口の中などに存在し、咳やくしゃみの際に飛沫に含まれる形で体の外に放出される。
 - ① **マイクロ飛沫（エアロゾル）感染**：ウイルスを含んだマイクロ飛沫（エアロゾル）が空中を漂い、それを吸い込むことによって感染する。
 - ② **飛沫感染**：ウイルスを含んだ飛沫が1～2m飛散し、眼に付着したり、鼻や口から直接吸い込むことによって感染する。
 - ③ **接触感染**：ウイルスを含んだ飛沫が患者の手指や周囲の環境表面に付着し、それに触れた手指で自分の目鼻口に触れることによって感染する。**ウイルスは手指に付着しているだけでは感染せず、その手指を目鼻口の粘膜に持っていくことで感染する。**



3.2 マイクロ飛沫（エアロゾル）感染の予防

マイクロ飛沫感染予防の解説動画（奈良県）

<https://youtu.be/2nPdLYRyB1Q?t=152>



- **換気**が重要である。
 - 部屋の中を対角線上に空気が抜けるように窓やドアを開けると良い。
 - サーキュレーターや扇風機は開けた窓やドアに向けて一方向で作動させる（室内の汚染した空気を室外に出すイメージ）。エアコンをまんべんなく効かせるように閉めきった部屋の中で首振り機能を使って作動させるのは感染対策的には間違い。
 - 二酸化炭素（CO₂）モニターで室内の二酸化炭素の増減を確認する方法もある。

3.3 飛沫感染の予防

飛沫感染予防の解説動画（奈良県）

<https://youtu.be/UzQrMvFQ4tA>



- （お互いの）**マスク**
- アクリル板やビニールシートで**遮断**
- 1～2m以上の**距離**

3.4 接触感染の予防

接触感染予防の解説動画（奈良県）

<https://youtu.be/fNNAXEeaLow>



● 手指衛生

- 流水と石けんによる「手洗い」と速乾性手指消毒薬による「手指消毒」の二通りがあり、二つをあわせて「手指衛生」と呼ぶ。
- 医療や介護の場面では「手指消毒」を優先して良い。理由は以下の3つである。
 - ◇ 手指消毒薬を持っていればいつでもどこでもできる（手洗いはシンクや石けんがないとできない）。
 - ◇ 手指消毒は手洗いよりも確実な消毒効果が得られる。
 - ◇ 手指消毒は手洗いよりも手荒れが少ない（アルコールが体質的にダメな場合を除く）。
- 一方、「手洗い」が必要になる場面としては以下のようなものがある。
 - ◇ 手指が目で見えて汚れている場合。例えば排泄物などが手指に付着している場合。
 - ◇ アルコールが効きにくい微生物による感染症患者の対応を行う場合。
 - 例えばノロウイルスやクロストリジオイデス・ディフィシル（偽膜性腸炎の原因菌で一般的にCDと呼ばれる）。

● 物品や環境表面の消毒

- 物品（体温計や血圧計、SpO₂モニターや食器、洗濯物、筆記用具など）や環境表面（ドアノブや手すり、机やトイレの便座など）にウイルスが付着していると、それに触れた手指で目鼻口を触ることにより感染する。また目鼻口を触らなくても、その手指で他の物品や環境表面を触ることで、汚染を広げることになる。

- ウイルス汚染が手指や環境の汚染によって、どのように広がっていくか、見てみよう！（どちらの動画も英語ですが、映像だけで内容は分かります。）

- 女性がパーティに呼ばれてドアノブを触り、ドーナツを食べる様子で感染する様子を可愛い微生物のイラストを用いて表現した動画

<https://youtu.be/yToii3-p-NI>



- 手指衛生を行わないとどのように微生物が広がっていくかを緑色の絵の具を用いて表現した動画

<https://youtu.be/M8AKTACyiB0>

